



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-34902

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/30		9289-5L	G 0 6 F 15/40	3 7 0 G
3/14	3 4 0	9289-5L	3/14	3 4 0 A
			15/419	3 2 0

審査請求 有 請求項の数11 O L (全 18 頁)

(21)出願番号 特願平7-179227

(22)出願日 平成7年(1995)7月14日

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 佐藤 孝也

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 斎藤 伸雄

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 石田 寛

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

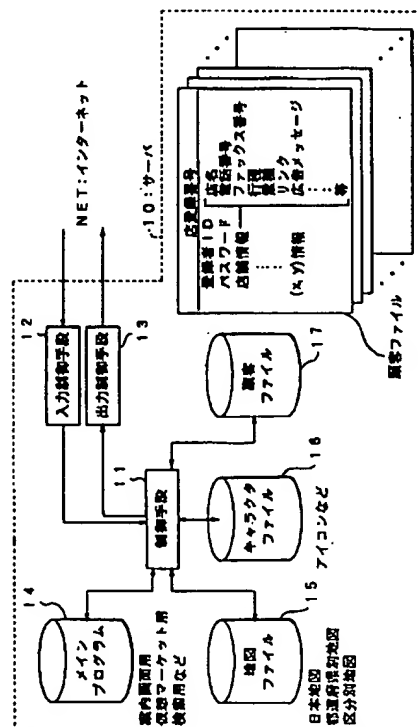
(74)代理人 弁理士 川▲崎▼ 研二 (外1名)

(54)【発明の名称】 広告情報の供給方法およびその登録方法

(57)【要約】

【目的】 広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグを短くする。

【構成】 インターネットNETを介して接続された広告依頼者の端末に対して制御手段11は、広告情報の入力をもつとともに、予め記憶手段15に記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促し、地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて顧客ファイルとして記憶手段17に格納する一方、広告受給者の端末に対して制御手段11は、記憶手段15に記憶された地図情報に基づいて地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促し、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出し、読み出された広告情報を、広告受給者の端末に対して出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、

広告受給者に対し、予め記憶された地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、

選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、

読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴とする広告情報の供給方法。

【請求項 2】 コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、

広告依頼者に対しては、

広告情報の入力进行を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、

前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備える一方、

広告受給者に対しては、

前記地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、

選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、

読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴とする広告情報の供給方法。

【請求項 3】 広告依頼者に対し、依頼者自身の識別 ID の入力进行を促す段階と、

入力された識別 ID によって、前記広告情報の入力进行を許可するか否かを決定する段階とを備えることを特徴とする請求項 2 記載の広告情報の供給方法。

【請求項 4】 前記広告情報は、少なくとも前記広告対象物の業種を示す業種情報を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 3 いずれか一の広告情報の供給方法。

【請求項 5】 広告対象物の図像化は、前記業種情報毎に異ならせて行なうことを特徴とする請求項 4 記載の広告情報の供給方法。

【請求項 6】 広告受給者に対しては、所望の業種を少なくとも 1 つ以上選択するように促す段階を備え、地図上には、選択された業種の広告対象物のみを図像化して表示することを特徴とする請求項 4 記載の広告情報の供給方法。

【請求項 7】 読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階の後、

広告受給者に対し、当該広告情報あるいは受給者自身に関する事項の入力进行を促す段階と、

入力された事項を、当該広告情報を入力した広告依頼者に転送する段階とを備えることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の広告情報の供給方法。

【請求項 8】 コンピュータネットワークを介して広告情報を供給する広告情報の供給方法において、

広告依頼者の端末に対しては、

広告情報の入力进行を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、

前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備える一方、

広告受給者の端末に対しては、

前記地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、

選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、

読み出された広告情報を、前記広告受給者の端末に対して出力する段階とを備えることを特徴とする広告情報の供給方法。

【請求項 9】 広告依頼者に対し、広告情報の入力进行を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、

前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備えることを特徴とする広告情報の登録方法。

【請求項 10】 広告依頼者に対し、依頼者自身の識別 ID の入力进行を促す段階と、

入力された識別 ID によって、前記広告情報の入力进行を許可するか否かを決定する段階とを備えることを特徴とする請求項 9 記載の広告情報の登録方法。

【請求項 11】 前記広告情報は、少なくとも前記広告対象物の業種を示す業種情報を含むことを特徴とする請求項 9 または 10 記載の広告情報の登録方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータシステムを用いた広告情報の供給方法に関わり、特に、広告情報をほぼリアルタイムに掲載、更新、削除することが可能な広告情報の供給方法、およびそのための登録方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、印刷物（出版物、イラストマップなど）等を用いて、地図上に商店等の位置を掲載し、併せて、商店等の広告内容を別欄・別頁に掲載し

て、当該商店等の広告を行なうことは知られている。また、これらの情報を記憶媒体（ＣＤ－ＲＯＭ、フロッピーディスクなど）に記憶させて、市場に流通させ、コンピュータシステムの端末に表示させて広告を行なうことも知られている。さらに、また、テレビ、ラジオ等の一方向メディアにより、視聴者、聴取者に対して広告を行なうことも知られている。

#### 【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、印刷物や記憶媒体を用いて広告を行なう方法では、広告依頼から実際に印刷物・記憶媒体が頒布・流通するまでの期間において、数週間から数カ月程度のタイムラグが生じ、このため、情報としての新規性・信頼性等が失われやすい、という問題がある。例えば、広告依頼時には、通常通り営業をしていた商店が、実際に印刷物が頒布された時点では、営業を取り止めてしまっている場合がある。かかる場合、当該印刷物全体に対して信頼性が低下し、広告供給者への不信感を招くばかりでなく、広告を受ける消費者等の側にも混乱が発生するという問題がある。また、一方向メディアでは、新規性や信頼性について、ある程度は確保できるものの、視聴者・聴取者の反応が得にくいといった問題や、広告料が概して高価であり、手続的にも複雑であるため、小規模な事業形態の広告依頼者では広告が出し難いといった問題もある。

【 0 0 0 4 】本発明は、上述した問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグをできるだけ短くし、さらに、広告の効果がわかりやすく、なおかつ、小規模な事業形態の広告依頼者であっても広告が出しやすい広告情報の供給方法、およびそのために広告情報を登録する広告情報の登録方法を提供することにある。

#### 【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】上述した問題を解決するために、請求項 1 に記載の発明にあっては、コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、広告受給者に対し、予め記憶された地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を 1 つ以上表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴としている。請求項 2 に記載の発明にあっては、コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、広告依頼者に対しては、広告情報の入力进行を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する

段階とを備える一方、広告受給者に対しては、前記地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴としている。請求項 3 に記載の発明にあっては、請求項 2 に記載の発明において、広告依頼者に対し、依頼者自身の識別 ID の入力を促す段階と、入力された識別 ID によって、前記広告情報の入力を許可するか否かを決定する段階とを備えることを特徴としている。請求項 4 に記載の発明にあっては、請求項 1 ～ 3 のいずれか一に記載の発明において、前記広告情報は、少なくとも前記広告対象物の業種を示す業種情報を含むことを特徴としている。請求項 5 に記載の発明にあっては、請求項 4 に記載の発明において、広告対象物の図像化は、前記業種情報毎に異ならせて行なうことを特徴としている。請求項 6 に記載の発明にあっては、請求項 4 に記載の発明において、広告受給者に対しては、所望の業種を少なくとも 1 つ以上選択するように促す段階を備え、地図上には、選択された業種の広告対象物のみを図像化して表示することを特徴としている。請求項 7 に記載の発明にあっては、請求項 1 または 2 に記載の発明において、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階の後、広告受給者に対し、当該広告情報あるいは受給者自身に関する事項の入力を促す段階と、入力された事項を、当該広告情報を入力した広告依頼者に転送する段階とを備えることを特徴としている。請求項 8 に記載の発明にあっては、コンピュータネットワークを介して広告情報を供給する広告情報の供給方法において、広告依頼者の端末に対しては、広告情報の入力を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備える一方、広告受給者の端末に対しては、前記地図情報に基づく地図を表示するとともに、当該地図上の地点であって、記憶された広告対象物の座標に相当する地点に、図像化した当該広告対象物を表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者の端末に対して出力する段階とを備えることを特徴としている。

【 0 0 0 6 】請求項 9 に記載の発明にあっては、広告依頼者に対し、広告情報の入力を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された

広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備えることを特徴としている。請求項10に記載の発明にあっては、請求項9に記載の発明において、広告依頼者に対し、依頼者自身の識別IDの入力を促す段階と、入力された識別IDによって、前記広告情報の入力を許可するか否かを決定する段階とを備えることを特徴としている。請求項11に記載の発明にあっては、請求項9または10に記載の発明において、前記広告情報は、少なくとも前記広告対象物の業種を示す業種情報を含むことを特徴としている。

【0007】請求項1（または4）に記載の発明によれば、広告受給者が、地図上において図像化表示された広告対象物を選択することによって、当該広告対象物に関連づけられた広告情報が読み出される。したがって、広告受給者にとってみれば、簡単な操作のみによって、所望する広告対象物の広告情報を得ることができる。請求項2、8（または4）に記載の発明によれば、広告依頼者が、表示された地図の位置を指定することによって、当該座標が広告対象物の位置として、その広告情報と関連づけられて登録される一方、広告受給者が、地図上において図像化表示された広告対象物を選択することによって、当該広告対象物に関連づけられた広告情報が読み出される。したがって、広告依頼者にとってみれば、簡単な操作のみによって、所望する広告対象物の広告情報を登録することができる一方、広告受給者にとってみれば、簡単な操作のみによって、所望する広告対象物の広告情報を得ることができる。しかも、登録された広告情報は、直ちに読み出すことができるので、広告依頼者による登録から広告受給者への供給までのタイムラグをほとんどなくすることが可能である。請求項5に記載の発明によれば、図像化表示された広告対象物は、業種毎に異なるので、広告受給者が、表示された広告対象物がどの業種であるかを直感的に知ることができる。したがって、広告受給者にとってみれば、さらに迅速に、所望する広告対象物の広告情報を得ることができる。請求項6に記載の発明によれば、図像化表示された広告対象物は、業種毎に異なり、しかも選択された業種だけしか表示されない。したがって、広告受給者にとってみれば、より迅速に、所望する広告対象物の広告情報を得ることができる。請求項7に記載の発明によれば、情報の供給は、広告依頼者から広告受給者への一方向だけではなく、広告受給者から広告依頼者への双方向で行なうことができる。したがって、広告依頼者にとってみれば、広告受給者からの反応が直接的にわかるので、広告の効果を考慮した営業活動が可能である一方、広告受給者にとってみれば、そのような営業活動の恩恵を受ける可能性もある。しかも、これらをタイムラグなしに行なわれるので、広告依頼者および広告受給者の双方が、いままでの広告では得られない種々のメリットを享受する可能性がある。

【0008】請求項9に記載の発明によれば、広告依頼者が、表示された地図の位置を指定することによって、当該座標が広告対象物の位置として、その広告情報と関連づけられて登録される。したがって、広告依頼者にとってみれば、簡単な操作のみによって、所望する広告対象物の広告情報を登録することができる。請求項10

（または11）に記載の発明によれば、広告依頼者以外による広告情報の入力が制限されるので、登録される広告情報の信頼性を高く保つことが可能となる。

10 【0009】

【発明の実施の形態】まず、本発明の実施形態の説明をする前に、本願発明の位置付けを説明する。広告とは、ある者がその者の商品・サービス等に関し、その消費者等に成り得る者に対して宣伝等を行なうことであるが、その情報の提供は、第三者を介して行なわれることもある。本願発明は、このような「第三者」に相当する部分である。次に、このような本願の位置付けを考慮して、以下の説明で使用する字句等の意味が定められる。例えば、以下の説明では、広告情報を提供する者、すなわち広告をしたい者を「広告依頼者」とし、広告情報の提供を受ける者、すなわち消費者等に成り得る者を「広告受給者」としている。ここで「広告依頼者」を「広告提供者」としなかったのは、「広告受給者」から見れば、本願発明も「広告依頼者」も同じ「広告提供者」となっている、混同を生じるおそれがあるからである。

【0010】1：全体構成

以下、本発明における一実施形態について図面を参照して説明する。図1は、本実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号10はサーバであり、経路制御装置、電話回線を経由してインターネットNETに接続されている。符号101、102、…は各種の端末であり、サーバ10と同様にしてインターネットNETに接続される。ここで、端末101、102、…は、それぞれCRTやLCD等の表示部とともに、キーボード、マウス等の入力部を有する。

【0011】1-1：サーバの構成

次に、サーバ10の詳細構成について説明する。図2は、サーバ10の構成を示すブロック図である。この図において、符号11は制御手段であり、CPU等から構成され、各部の制御や、データの転送、種々の演算、データの一時的な格納等を行なう。符号12は入力制御手段であり、インターネットNETを介して接続された端末から入力されるデータを制御する。符号13は出力制御手段であり、端末に出力されるデータを制御する。符号14～17はいずれも記憶手段であり、それぞれ以下のファイルが格納、記憶されている。

【0012】まず、記憶手段14には、メインプログラムが記憶されている。かかるメインプログラムは、制御手段11において用いられるものであり、例えば、端末の表示部に案内画面を表示させるプログラムや、地図上

に所望とする業種の店舗のみを表示させる仮装マーケット用プログラム、文字検索により必要な情報を得るための検索用プログラム等から構成される。他に、この記憶手段 1 4 には、端末 1 0 1、1 0 2、…から送信されてきた広告に関する感想等の情報が一時的に格納される。なお、これらの動作については、いずれも後述する。次に、記憶手段 1 5 には、地図ファイルが記憶されている。本実施形態における地図ファイルは、3 層の階層構造であって、上層は日本地図であり、中層は都道府県別の地図であり、下層は区分（例えば、市町村単位、繁華街単位）地図である。なお、各層の地図は、いずれもビットマップ形式である。記憶手段 1 6 には、キャラクタファイルが記憶されている。かかるキャラクタファイルは、表示用文字データや、アイコンのビットマップデータ等から構成されており、後述する動作の際に参照されるようになっている。なお、アイコンのビットマップデータは、それぞれ業種毎に異なって記憶されている。そして、記憶手段 1 7 には、顧客ファイルが記憶されている。かかる顧客ファイルは、店登録番号毎に作成されるものであり、1 つの店登録番号に対応する顧客ファイルは、登録者 ID、パスワード、店舗情報、(x, y) 情報等のように店舗固有の情報から構成される。このうち、店舗情報は、さらに店名や、電話番号、ファックス番号、(最寄り駅から店舗までの) 行程、店舗の業種を示す業種情報、(他の情報と結びつける場合に、参照すべきネットワーク上の情報の先行を示す) リンク情報、(広告の内容を示す) 広告メッセージ等のように、広告対象の店舗に関する種々の情報から構成される。本願の広告情報とは、狭義では広告メッセージを指すが、広義には、店舗情報よりも上位であって、顧客ファイル作成に必要な情報のすべてを指す。なお、店登録番号は、端末からの登録があった場合に、制御手段 1 1 により自動的に付与されるものである。また、(x, y) 情報とは、店舗の位置が、ビットマップ形式の地図ファイルにおいてどの地点(座標)であるかを示す情報である。

#### 【0013】2：動作説明

次に、本実施形態の動作について説明する。ここで、端末 1 0 1、1 0 2、…は、それぞれサーバ 1 0 と接続されて通信を行ない、いずれも広告依頼者の端末としても、広告受給者の端末としても機能するが、説明便宜上、サーバ 1 0 には端末 1 0 1 が接続されたとして、以下説明を行なう。サーバ 1 0 に端末 1 0 1 が接続されると、制御手段 1 1 は、この接続を入力制御手段 1 2 を介して検知し、メインプログラムにしたがって端末 1 0 1 を制御する。図 3 および図 4 は、かかるメインプログラムの動作を示すフローチャートである。

#### 【0014】2-1：登録

まず、顧客ファイルの作成過程を説明すべく、端末操作者が新規の広告依頼者（あるいはその代理人）であると

#### 【0015】2-1-1：新規登録

まず、図 3 に示したステップ S a 1 において、制御手段 1 1 は、端末 1 0 1 の表示部に対し、図 5 に示すようなメインメニュー画面を表示させ、端末操作者に対して、本実施形態の処理である「地図」、「仮想マーケット」、「検索」、および「登録」の中から所望する処理を選択するように促す。かかる、メインメニュー画面においては、マウスカーソル MC が表示され、所定の場所をクリックすることにより、種々の操作を行なえるようになっている。例えば、ボタン 2 1<sub>1</sub> ~ 2 1<sub>4</sub> のいずれかの表示領域に、マウスカーソル MC を位置させてクリックすれば、当該表示領域で示された処理が行なわれ、また、三角形のボタン 2 2 U、2 2 D、2 2 L、2 2 R の表示領域に、マウスカーソル MC を位置させてクリックすれば、当該三角形の頂点で定まる長方形の表示エリアが、それぞれ上、下、左、右にスクロールするようになっている。

【0016】ここでは、端末操作者は、マウスカーソル MC をボタン 2 1<sub>1</sub> の表示領域に位置させた後、クリック操作を行なって「登録」の処理を選択する。すると、これを検知した制御手段 1 1 は、手順を図 4 に示したステップ S b 1 に進ませて、端末 1 0 1 の表示部に対し、図 6 に示すような登録メニュー画面を表示させるように制御する。なお、この登録メニュー画面においては所定の操作により、メインメニュー画面(ステップ S a 1)に戻ることができるようになっている。また、以下のステップ S b 2 ~ S b 1 5 では、所定の操作によって、いつでも、この登録メニュー画面に戻ることができるようになっている。さて、この登録メニュー画面には、「新規登録」、「既登録の更新」、「既登録の削除」の各処理に対応するチェックボタン 2 3<sub>1</sub> ~ 2 3<sub>3</sub> が示されて、端末操作者に対し、いずれかの処理を選択するように促される。これに対応して、端末操作者は、「新規登録」の処理を選択すべく、マウスカーソル MC をチェックボタン 2 3<sub>1</sub> の表示領域に位置させてクリックし、次に入力ボックス 2 4<sub>1</sub> の表示領域に位置させてクリックした後、入力部により登録者 ID を入力する。この後、同様に、端末操作者は、マウスカーソル MC を入力ボックス 2 4<sub>2</sub> の表示領域に位置させてクリックした後、入力部によりパスワードを入力する。そして、これらの操作が完了すると、端末操作者は、その旨をサーバ 1 0 側に伝えるべく、マウスカーソル MC をボタン 2 5 の表示領域に位置させてクリックする。

【0017】かかる操作により、手順がステップ S b 2 に進み、制御手段 1 1 は、重複登録を避けるべく、入力された登録者 ID とパスワードとがすでに使用されているか否かについて、すでに作成した顧客ファイルを検索することによりチェックする。ここで、制御手段 1 1 は、すでにこれらが使用されていると判定すれば、手順をステップ S b 1 5 に進ませ、端末 1 0 1 の表示部に対

して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、手順をステップS b 1に戻して再び登録メニュー画面を表示させる。一方、制御手段11は、使用されていないと判定すれば、次のステップS b 3の処理を行なう。

【0018】ステップS b 3において、制御手段11は、端末101に対して、図7に示す位置指定画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、広告すべき店舗の位置指定を促す。ここで、表示される地図は、記憶手段15に記憶された地図ファイルに基づくものである。なお、図7に示すものは、東京都千代田区神田界限（秋葉原駅周辺）を示す下層の区分地図である。端末操作者は、表示された地図上において、広告の対象となる店舗の位置を、マウスカーソルMCにより指してクリックする。すると、制御手段11は、この地図を示すコードと、この地図上において指定された位置の座標を示す(x, y)情報を求めて、これらの情報を一旦格納した後に、次のステップS b 4の処理を行なう。

【0019】ステップS b 4において、制御手段11は、端末101に対して、図8～図10に示す店舗情報入力画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、店舗情報の入力を促す。なお、図8～図10に示した店舗情報入力画面は、別個の画面ではなく、ボタン22Uまたは22Dにより上下スクロールする連続画面である。端末操作者は、かかる店舗情報入力画面において、各入力ボックス26<sub>1</sub>～26<sub>11</sub>に、マウスカーソルMCや入力部等を用いて必要な情報を入力を行なうとともに、ボタン27<sub>1</sub>～27<sub>7</sub>を用いて所定の項目を選択する。ここで、ボタン27<sub>1</sub>～27<sub>7</sub>は、いずれもプルダウンメニューを表示させるボタンであり、ここにマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを押下すると複数の項目が表われ、押下した状態を保ったまま該当する項目に合わせてマウスボタンを離すと、当該項目が選択されるようになっていく。例えば、ボタン27<sub>1</sub>にマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを押下すると、デパートの他に種々の業種が表示され、押下した状態を保ったまま、該当する項目にマウスカーソルMCを合わせて、マウスボタンを離すと、その時点の項目が入力値として選択される。なお、ボタン27<sub>7</sub>は、入力ボックス26<sub>1</sub>に入力された広告メッセージをHTML (Hyper Text Make up Language) で記述したか、純粋なテキスト形式で記述したかを選択するボタンである。また、ボタン27<sub>7</sub>に対応する「フォローシートの転送」とは、後述する広告案内において、広告受給者からのメッセージ（フォローシート）を、広告依頼者に転送することをいう。すなわち、ボタン27<sub>7</sub>により、広告受給者からのフォローシートを広告依頼者に転送するか否かが、さらに転送する場合にはその頻度についても選択されるようになっている。このようにして、端末操作者が、必要な情報を入力し終わると、ボタン28<sub>1</sub>をマウスでクリ

ックする。なお、入力した情報をクリアにする場合には、ボタン28<sub>1</sub>を押下する。

【0020】ボタン28<sub>1</sub>が押下されると、制御手段11は手順をステップS b 5に進ませ、入力された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより、制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップS b 6に進む。ステップS b 6において制御手段11は、端末101の表示部に対し、「登録しました」旨の表示を行なうとともに、登録メニュー画面、位置指定画面および店舗情報入力画面において入力された情報を、1つの顧客ファイルとして、特に、店舗情報入力画面において入力された情報については店舗情報として記憶手段17に格納する。この際に付与された店登録番号は、制御手段11の制御により端末101の表示部に表示されて、端末操作者に告知される。この後、制御手段11は、手順をステップS b 1の登録メニュー画面表示に戻す。このようにして、新規の広告依頼主が行なった入力に対して1つの顧客ファイルが作成される。

【0021】2-1-2：既登録の変更  
ところで、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、広告内容の変更等したい場合が生じる。かかる場合に、広告依頼者たる端末操作者は、図5に示したステップS b 1の登録メニュー画面において、「既登録の変更」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン23<sub>1</sub>をクリックした後、入力ボックス24<sub>1</sub>～24<sub>4</sub>に、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力し、ボタン25をマウスでクリックする。

【0022】かかる操作により、制御手段11は、手順をステップS b 7に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップS b 15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、ステップS b 1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップS b 8の処理を行なう。

【0023】ステップS b 8において制御手段11は、図8～図10に示した店舗情報入力画面を表示し、さらに、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出して、該当する各入力ボックス26<sub>1</sub>～26<sub>11</sub>およびボタン27<sub>1</sub>～27<sub>7</sub>を、当該顧客ファイルに対応した情報表示とさせる。これにより修正前の顧客ファイルに対応する店舗情報入力画面が復元される。そして、端末操作者は、店舗情報のうち所望する箇所を修正・変更し



た後、ボタン28<sub>1</sub>をマウスによりクリックする。すると制御手段11は、手順をステップSb9に進ませる。ステップSb9において制御手段11は、変更された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、新規登録時と同様に、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップSb10に進む。ステップSb10において制御手段11は、端末101の表示部に対し、「修正しました」旨の表示を行なうとともに、修正された店舗情報を、修正前と同じ店登録番号の顧客ファイルとして記憶手段17に格納し直す。そして、この後、制御手段11は、手順をステップSb1の登録メニュー画面表示に戻す。

#### 【0024】2-1-3：既登録の削除

さて、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、諸般の事情により広告の廃止等を望む場合がある。かかる場合に、広告依頼者たる端末操作者は、図5に示したステップSb1の登録メニュー画面において、「既登録の削除」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン23<sub>1</sub>をクリックした後、入力ボックス24<sub>1</sub>~24<sub>4</sub>に、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力し、ボタン25をマウスでクリックする。かかる操作により、制御手段11は、手順をステップSb11に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップSb15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」旨を表示させる制御をした後、手順をステップSb1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップSb12の処理を行なう。

【0025】ステップSb12において制御手段11は、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出し、当該ファイルに対応する店舗情報を端末101の表示部に表示させて、端末操作者に対し、削除すべき顧客ファイルの内容を確認させる。それが誤りであれば、手順がステップSb1の登録メニュー画面表示に戻る一方、削除するのであれば、ステップSb13に進んで、制御手段11は、端末101の表示部に「本当に削除します」旨表示して、当該顧客ファイルの削除を再確認させる。この段階で削除しないのであれば、手順がステップSb1の登録メニュー画面表示に戻る一方、本当に削除するのであれば、ステップSb14に進んで、制御手段11は、当該顧客ファイルの削除するとともに、端末101の表示部に「削除しました」旨表示する。そして、この後、手順は、ステップSb1の登録メニュー

画面表示に戻るようになっている。

【0026】このように、顧客ファイルは、広告依頼者の操作により容易に登録、変更、削除が可能であるので、常に、新鮮な店舗情報を保つことが可能であり、また、その変更・削除の際には、店登録番号、登録者IDおよびパスワードが求められるので、セキュリティも保たれる。以上は、1つの顧客ファイルについて述べたが、他の端末や異なる広告依頼者からも、顧客ファイルの作成が可能であるため、様々な業種の顧客ファイルや、広範囲にまたがる顧客ファイルが次第に蓄積されることとなる。

#### 【0027】2-2：広告の受給

次に、顧客ファイルに基づいて、いかにして広告が行なわれるかについて説明する。この場合も、登録時と同様に、説明の便宜上、サーバ10には端末101が接続されたとして説明を行なう。なお、サーバ10に端末101が接続されてから、図3に示したステップSa1の処理（メインメニュー画面の表示）までの過程は、登録時と同様であるので、かかる過程の説明については省略する。さて、本実施形態における広告の受給は、広告受給者たる端末操作者に対して「地図」、「仮想マーケット」、「検索」の3機能により行なうことを想定している。このうち「地図」は、主に地域的な面から店舗を検索し、また、「仮想マーケット」は、主に業種の面から店舗を検索し、「検索」は、顧客ファイルの文字列を検索して、それぞれ該当する店舗の情報を供給して、広告を行なうものである。

#### 【0028】2-2-1：地図

まず、「地図」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図3に示したステップSa1のメインメニュー画面（図5参照）において、「地図」のボタン21<sub>1</sub>をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップSa2に進ませ、上層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく日本地図とともに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図11に示す。ここで、端末操作者は、例えば、表示地図上の東京にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたとする。すると制御手段11は、手順をステップSa3に進ませて、中層の地図ファイルのうち、位置指定された東京の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく東京都近郊の地図とともに、さらに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図12に示す。この画面に対し、端末操作者は、表示地図上の「秋葉原周辺」にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたとすると、手順は次のステップSa4に進む。

【0029】ステップSa4において制御手段11は、



まず、下層の地図ファイルのうち、位置指定された秋葉原近郊の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく秋葉原近郊の地図を表示させる。次に、制御手段11は、記憶手段17に格納された顧客ファイルのうち、地図コードが、先に読み出された秋葉原近郊の地図ファイルを示すものを検索して抽出する。そして、制御手段11は、抽出された顧客ファイルの(x、y)情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に対応するアイコンを、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。また、アイコンのビットマップデータは、業種情報に対応するものが記憶手段16から読み出される。このときに端末101の表示部に表示される画面を図13に示す。なお、かかる表示画面に示されるメッセージ中、アンダーラインが付されている文字部分をマウスクリックすることにより、表示された地図およびアイコンが、当該メッセージで示される方向にスクロール移動するようになっている。かかる制御も制御手段11が行なっている。また、この表示画面のボタン31をマウスでクリックすれば、前述したステップSb1の登録メニュー画面表示に移行し、また、所定の操作により後述するステップSa8にも移行することができるようになっている。

【0030】さて、端末操作者は、かかる画面にアイコン化されている店舗情報を欲する場合には、そのアイコンをマウスによりクリックする。例えば、当該画面には、先に登録動作で説明した「〇〇デパート」が、指定された位置にアイコン化されて表示されているが、端末操作者は、この「〇〇デパート」の詳細情報を欲する場合、同図に示すように「〇〇デパート」のアイコンにマウスカーソルを合わせてクリックする。かかる操作により制御手段11は、手順をステップSa5に進ませ、地図上でクリックされた座標を検出し、この座標に一致する、あるいは最も近傍の(x、y)情報を有する顧客ファイルを検索して見つけ、さらに、当該顧客ファイルの店舗情報を読み出して、端末101の表示部に表示させる。かかる動作により、例えば、クリックしたアイコンが「〇〇デパート」であれば、この顧客ファイルが検索されて、図14に示したように、先に広告依頼人が店舗情報入力画面により入力した店舗情報が表示される。

【0031】このように、広告受給者たる端末操作者は、表示部に表示された地図と、その地図上に重ねられたアイコンとを見ながら、アイコンをクリックするのみにより、そのアイコン化された店舗の情報を得ることができる。一方、この店舗情報は、広告依頼者のみにより容易に修正可能である。したがって、かかる実施形態によれば、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグを短くすることができ、しかも、広告情報の信頼性を保つこともできるのである。

【0032】さて、図14に示した画面には、クリックされたアイコンの店舗情報のほかに、その店舗情報を見た広告受給者自身が記入する画面が連続している。この画面を図15および図16に示す。これらの図に示すように、記入画面には、広告受給者自身に関する事項や、通信環境等の事項等を記入するための入力ボックス32<sub>1</sub>～32<sub>4</sub>、それらの事項をプルダウン形式で選択させるボタン33<sub>1</sub>～33<sub>4</sub>、および店舗情報の感想・意見を記入する入力ボックス34が設けられる。そして、この画面にしたがって入力された情報は、広告受給者たる端末操作者がボタン35<sub>1</sub>をマウスクリックすれば消去される一方、端末操作者がボタン35<sub>1</sub>をマウスクリックすればサーバ10に送信されるようになっている。そして、サーバ10に送信された情報は、制御手段11によって、その日付時刻および店登録番号と関連づけられて記憶手段14にフォローシートとして蓄積される。なお、広告受給者にとって、これらの事項を入力するのは義務ではなく任意である。そして、広告依頼者がボタン35<sub>1</sub>を押下、あるいは所定の操作をすることにより、制御手段11は、手順をステップSa1のメインメニュー画面表示に戻す。

【0033】ところで、蓄積された情報は、図10に示した画面におけるボタン27により設定された状態にしたがって広告依頼者に転送される。例えば、ある広告依頼者が1週間に1度の頻度で転送を希望する旨が設定されているのであれば、サーバ10内の制御手段11は、その広告依頼者の店登録番号に関連づけられて蓄積された情報であって、一週間以内に送信された情報を検索して抽出し、抽出された情報をFAXでまとめて転送する。この場合、転送作業は、一週間毎に行なわれ、その際のFAX番号は、店登録番号の顧客ファイルに対応するものである。なお、広告依頼者がフォローシートの転送を希望しない旨の設定がされているのであれば、制御手段11は、広告受給者からの情報を受信しても不要なのでこれを破棄する。

【0034】このように、広告依頼者には、その広告情報を見た広告受給者からの反応や感想などが、直接に、しかも設定によっては迅速に伝えることができる。したがって、本実施形態によれば、店舗情報の供給が、従来における広告依頼者から広告受給者への一方的のみならず、広告受給者から広告依頼者への方向でも行なわれるので、広告依頼者は、その広告受給者の反応や、感想を考慮しながら、広告や営業活動を行なうことが可能となる。

#### 【0035】2-2-2：仮想マーケット

次に、「仮想マーケット」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図3に示したステップSa1のメインメニュー画面(図5参照)において、「仮想マーケット」のボタン21をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップSa6に

進ませ、端末 1 0 1 の表示部に、図 1 7 に示すような仮想マーケットメニュー画面を表示させる制御を行なう。なお、このステップ S a 6 に進行する段階では、下層の区分地図がなんらかの方法により、例えばステップ S a 2 ~ S a 3 により、位置指定されているものとする。この画面において、符号 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> はチェックボックスであり、それぞれ、この表示領域をマウスでクリックすれば「×」が表示されて、該当する業種が選択されたことを示す一方、「×」が表示されているチェックボックス 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> をマウスでもう 1 回クリックすれば「×」が消えて、該当する業種の選択が解除されるようになっている。そして、これらチェックボックス 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> には、本実施形態で想定している業種がそれぞれ対応している。また、これらチェックボックス 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> の下欄には、想定している業種項目がアンダーラインが付された状態で表示されている。

【0036】ここで、端末操作者は、これらのアンダーラインが付された業種のうち、所望のものをマウスクリックすると、これを検出した制御手段 1 1 が、手順をステップ S a 7 に進める。このステップ S a 7 において、制御手段 1 1 は、記憶手段 1 7 に格納されている顧客ファイルのなかから、店舗情報の業種が、クリックされた業種と一致するものを検索して抽出し、抽出した顧客ファイルの店名リストを、端末 1 0 1 の表示部に表示させる。例えば、仮想マーケットメニュー画面において、図 1 7 に示すように、「デパート、百貨店」がマウスカーソル MC<sub>1</sub> でクリックされたのであれば、制御手段 1 1 は、店舗情報の業種がデパートあるいは百貨店である顧客ファイルを抽出し、抽出した顧客ファイルすべての店名を、図 1 8 に示すように、接続端末の表示部に表示させるのである。

【0037】さて、図 1 8 に示す画面では、抽出された顧客ファイルの店名リストとともに、広告の掲載、更新、削除を行なうことを指定するボタン 4 2 が表示されている。このボタン 4 2 をマウスクリックすれば、これを検出した制御手段 1 1 が、手順を上述したステップ S b 1 にスキップさせて登録メニュー画面を端末 1 0 1 の表示部に表示させる。また、図 1 8 に示す画面において表示されている店名のいずれかをマウスクリックすれば、これを検出した制御手段 1 1 が、手順を上述したステップ S a 5 にスキップさせて、クリックされた店名の店舗情報を表示した画面とともに、広告受給者自身が記入する画面（図 1 4 ~ 図 1 6 参照）を表示させる。さらに、図 1 8 に示す画面では、アンダーラインの付された「地図」の文字も表示されている。この文字部分を、マウスクリックすれば、これを検出した制御手段 1 1 が、手順をステップ S a 8 にスキップさせる。

【0038】このステップ S a 8 において制御手段 1 1 は、現時点において指定されている下層の地図ファイルを記憶手段 1 5 から読み出し、端末 1 0 1 の表示部に、

当該ファイルに基づく地図を表示させる。次に、制御手段 1 1 は、抽出された顧客ファイルの (x、y) 情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に対応するアイコンを、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。このときに端末 1 0 1 の表示部に表示される画面を図 1 9 に示す。この際に表示される地図には、図 1 3 に示した画面の地図とは異なり、マウスクリックした業種に相当する 1 種類のアイコンのみが表示される。例えば、図 1 7 に示した画面（ステップ S a 6）において「デパート、百貨店」がマウスクリックされたのであれば、図 1 9 に示すように「デパート、百貨店」のアイコンだけが表示される。

【0039】次に、図 1 7 に示したチェックボックス 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> を用いた検索動作について説明する。端末操作者が所望の業種をチェックして、「地図」の文字部分をマウスクリックすると、制御手段 1 1 は次の動作を行なう。まず、制御手段 1 1 は、現時点において指定されている下層の地図ファイルを記憶手段 1 5 から読み出し、端末 1 0 1 の表示部に、当該ファイルに基づく地図を表示させる。次に、制御手段 1 1 は、チェックボックス 4 1<sub>1</sub> ~ 4 1<sub>4</sub> により選択された業種と一致する顧客ファイルを検索して抽出する。そして、制御手段 1 1 は、抽出された顧客ファイルの (x、y) 情報を読み出し、その情報で示される座標位置に、業種情報に対応するアイコンを、必要であればその店名とともに、表示した地図に上書きして表示させる。なお、かかる上書き表示は、抽出した顧客ファイルのすべてに対応して行なわれる。このときに端末 1 0 1 の表示部に表示される画面を図 2 0 に示す。この際に表示される地図には、図 1 9 に示した画面の地図とは異なり、チェックボックスで選択された業種に相当するアイコンが表示される。例えば、図 1 7 に示した画面（ステップ S a 6）において「デパート、百貨店」、「郵便局」、「その他」が選択されたのであれば、図 2 0 に示すように、「デパート、百貨店」、だけではなく、「郵便局」、「その他」を示すアイコンも表示される。

【0040】なお、端末操作者が図 1 9 および図 2 0 に示した各画面に対して所定の操作を行なうと、制御手段 1 1 は、当該地図に対応するすべての業種のアイコンを表示した画面（図 1 3、ステップ S a 4）にスキップするようになっている。また、これらの各画面において地図上で表示されるアイコンの業種は、図 1 3 に示したものと異なるが、それ以外の点、例えば、表示されたアイコンをマウスクリックすると、その店舗の広告情報が表示される点などは同じである。すなわち、この場合に制御手段 1 1 は、手順をステップ S a 5 に進ませて、地図上でクリックされた座標を検出し、この座標に一致する、あるいは最も近傍の (x、y) 情報を有する顧客フ

ファイルを検索して見つけ、さらに、当該顧客ファイルの店舗情報を読み出して、端末 1 0 1 の表示部に表示させる。

【0 0 4 1】このように、「仮想マーケット」では、広告受給者たる端末操作者が、所望とする 1 以上の業種のみを検索することができる。また、ある地図内に含まれる顧客ファイルが少ないうちは、アイコンも表示される個数が少なく、見やすいという点では結構なのであるが、本実施形態では、時間経過とともに、当該地図内に含まれる顧客ファイルが増加する場合が考えられる。このような場合、同一地図内に表示されるアイコンを、すべての業種にわたって表示するのみの構成とすると、アイコンが多くなって、最悪、重なってしまって、非常に見づらいことが考えられるが、本実施形態では、広告受給者が所望の業種のみを選択して表示させるアイコンの業種を絞り込めるので、このような不都合を回避することも可能となる。

【0 0 4 2】なお、本願における業種は、本実施形態に挙げたものに限られないことはいうまでもない。例えば、銀行、スクール、書店、病院等の種々の業種を追加する構成としても構わない。なぜなら、これらは、顧客ファイルのうちの、店舗情報に含まれる業種情報により区別できるためである。

【0 0 4 3】2-2-3：検索

次に、「検索」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図 3 に示したステップ S a 1 のメインメニュー画面（図 5 参照）において、「検索」のボタン 2 1 をクリックする。すると、これを検出した制御手段 1 1 は、手順をステップ S a 9 に進ませ、端末 1 0 1 の表示部に検索案内画面を表示させる。そして、端末操作者は、かかる画面において広告に関する情報に対して検索を行なう。広告に関する情報は、すべて店登録番号毎の顧客ファイルに格納されているので、制御手段 1 1 は、端末 1 0 1 による操作に対して、文字列のアンド・オア検索や、時期的・地域的な条件検索、キーワード検索等を行なって、必要な情報を端末 1 0 1 に送信する。これにより、端末操作者は、所望とする検索結果を得る。

【0 0 4 4】なお、上述した実施形態にあっては、サーバ 1 0 と、端末 1 0 1、1 0 2、…とがインターネット NET を介して接続された構成としたが、本願においては、両者の接続形態については問われない。また、実施形態にあっては、サーバ 1 0 と接続される端末を端末 1 0 1 としたが、端末 1 0 1 以外であっても良い。また、実施形態にあっては、広告依頼者のう端末と広告受給者の端末とが同一の端末 1 0 1 としたが、いずれの端末も両者になり得る。

【0 0 4 5】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグをで

きるだけ短くし、さらに、広告の効果がわかりやすく、なおかつ、小規模な事業形態の広告依頼者であっても広告が出しやすい広告情報の供給方法およびその登録方法を提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明における実施形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】 同実施形態におけるサーバの構成を示すブロック図である。

【図 3】 同実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図 4】 同実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図 5】 同実施形態におけるメインメニュー画面の構成を説明するための図である。

【図 6】 同実施形態における登録メニュー画面の構成を説明するための図である。

【図 7】 同実施形態における位置指定画面の構成を説明するための図である。

【図 8】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

【図 9】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

【図 1 0】 同実施形態における店舗情報入力画面の構成を説明するための図である。

【図 1 1】 同実施形態における上層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図 1 2】 同実施形態における中層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図 1 3】 同実施形態における下層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図 1 4】 同実施形態における店舗情報表示画面およびフォローシート記入画面の構成を説明するための図である。

【図 1 5】 同実施形態における店舗情報表示画面およびフォローシート記入画面の構成を説明するための図である。

【図 1 6】 同実施形態における店舗情報表示画面およびフォローシート記入画面の構成を説明するための図である。

【図 1 7】 同実施形態における仮想マーケットメニュー画面の構成を説明するための図である。

【図 1 8】 同実施形態における業種別の店名リスト表示画面の構成を説明するための図である。

【図 1 9】 同実施形態において選択された業種のアイコン表示画面の構成を説明するための図である。

【図 2 0】 同実施形態において選択された業種のアイコン表示画面の構成を説明するための図である。

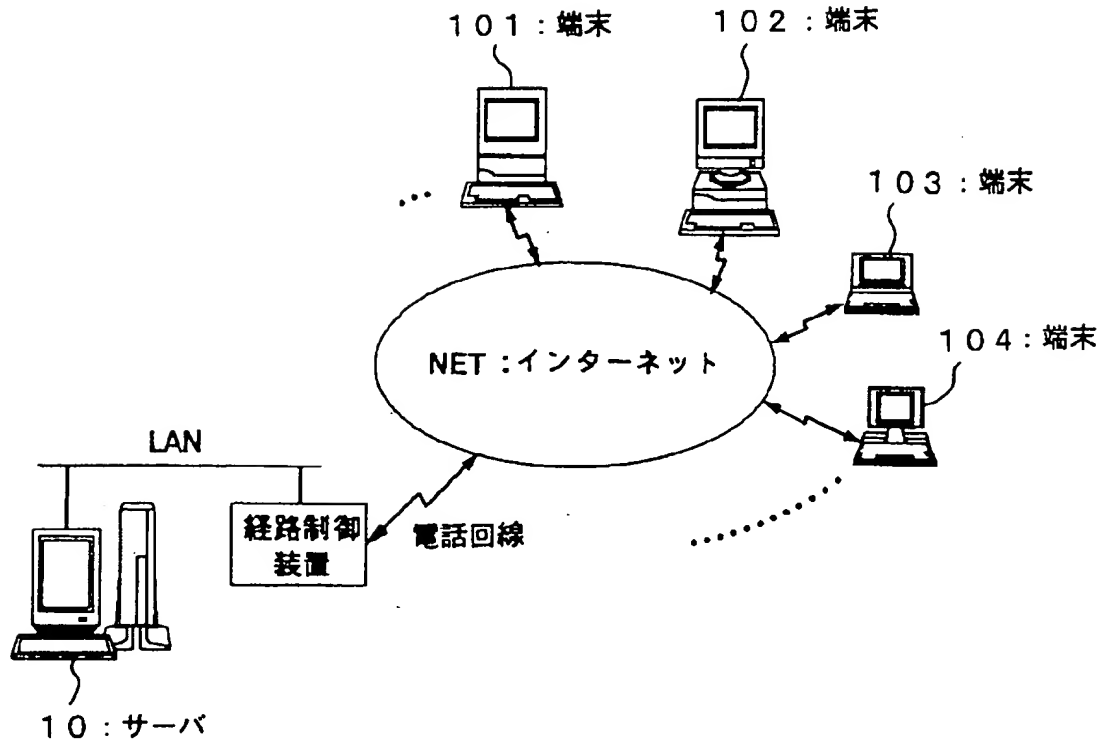
【符号の説明】

1 0 ……サーバ

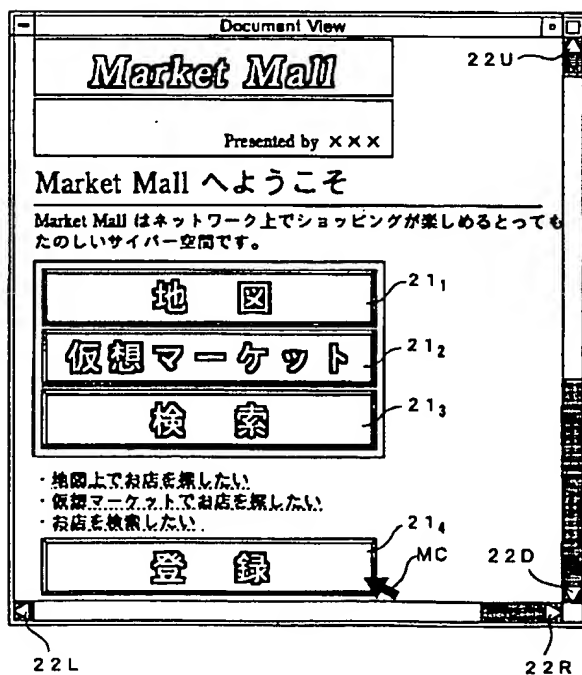
- 11 ……制御手段  
 12 ……入力制御手段  
 13 ……出力制御手段

- 14 ~ 17 ……記憶手段  
 101、102、103、104、……端末

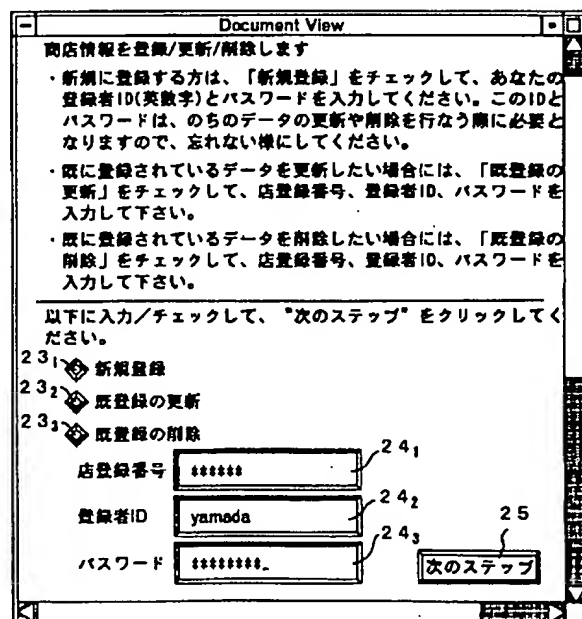
【図1】



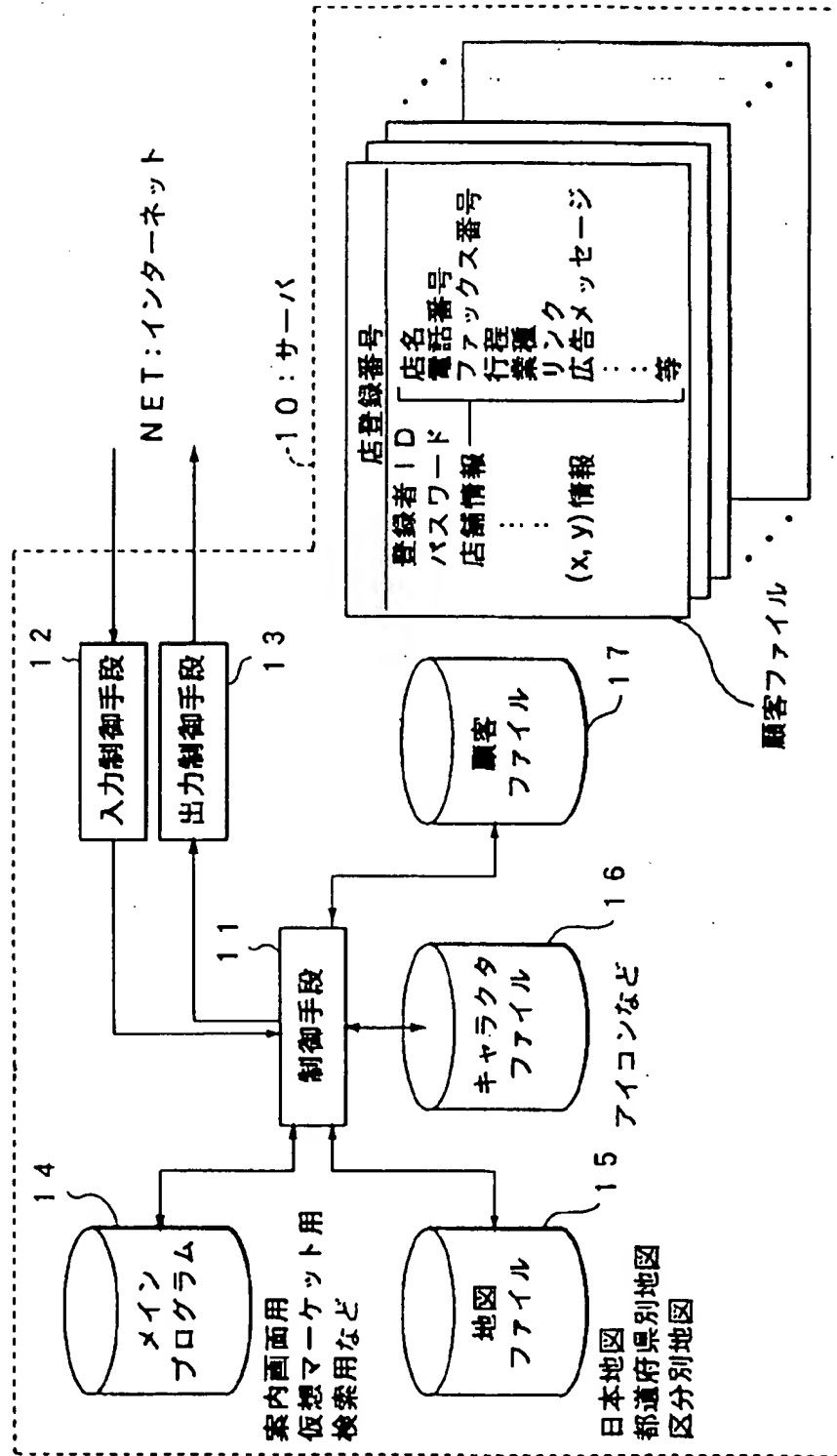
【図5】



【図6】

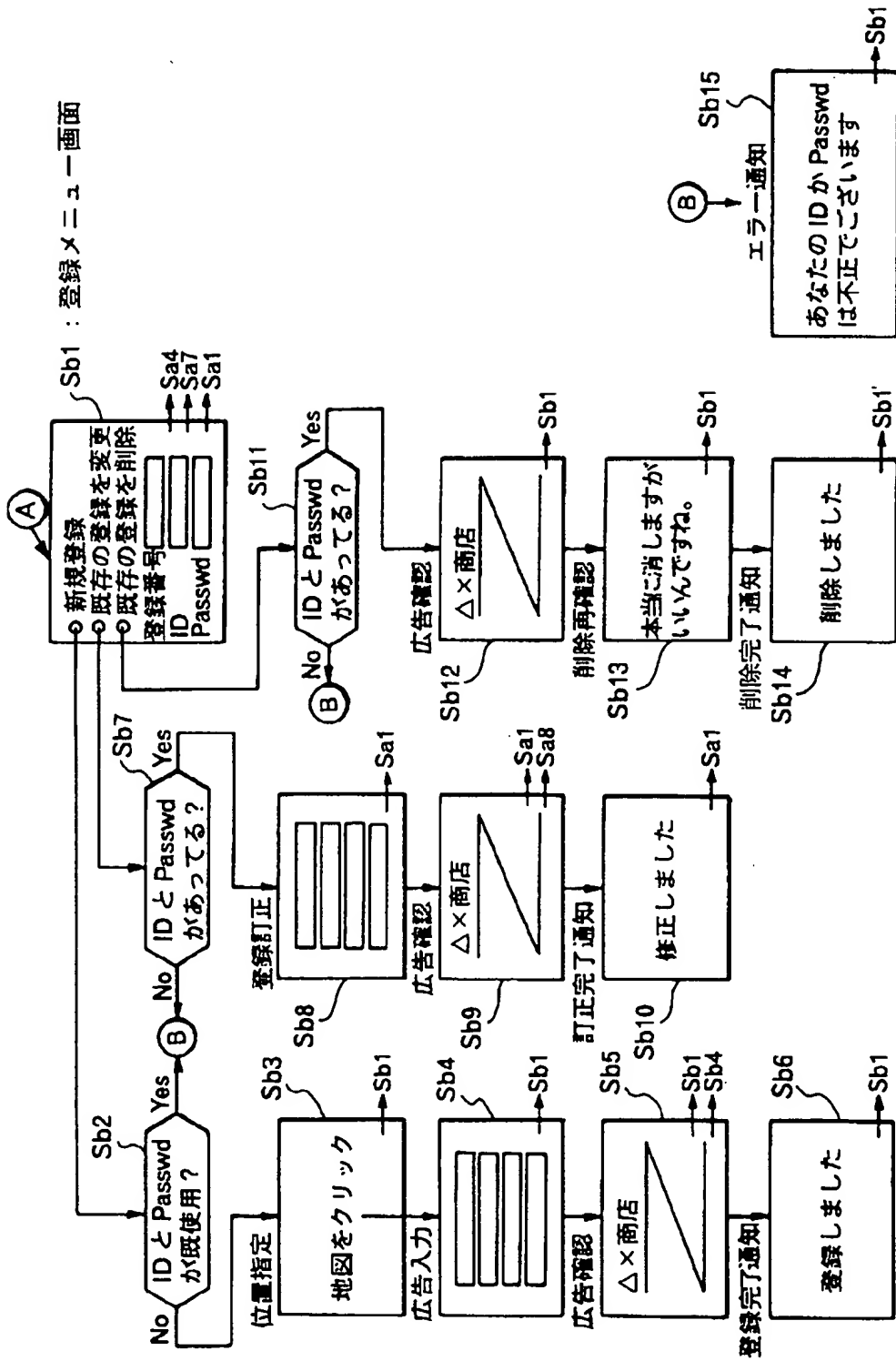


【図2】



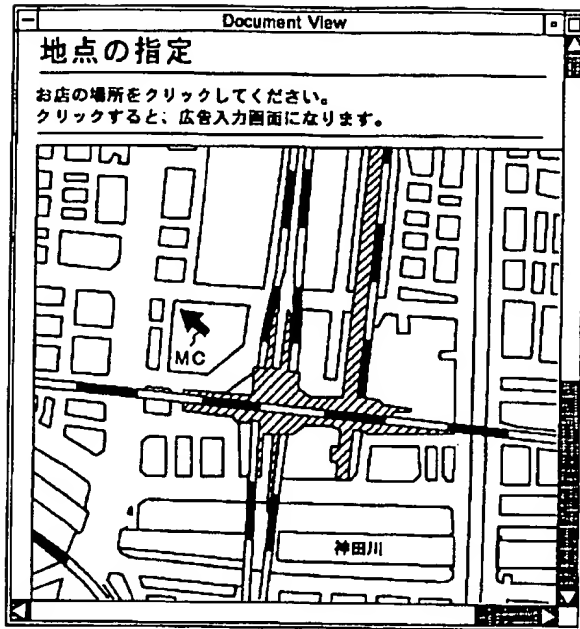
[illegible]

【図 4】





【図7】



【図8】

【図9】

【図10】

【図11】



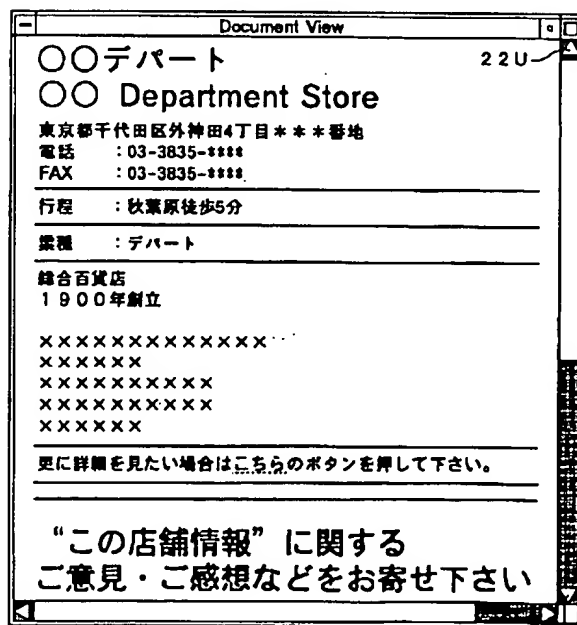
【図12】



【図13】



【図14】



【図15】

Document View

22U

“この店舗情報”に関する  
ご意見・ご感想などをお寄せ下さい

下記のFORMにご記入された後、“送信”ボタンを押して下さい。  
よろしくお願い致します。

電子メールアドレス 321

サブジェクト 322

“この店舗情報”に関するコメントをどうぞ 34

送信

22D

【図16】

Document View

22U

どちらからアクセスされましたか? 331

ネットワークにアクセスされる際に主として使用される  
コンピュータは? 332

A コンピュータ

以下もよろしければお答え下さい

お歳をどうぞ 333

20-29才

性別をどうぞ 334

男

お名前をどうぞ 323

氏 324

名 324

ご住所をどうぞ 325

送信 351 全消去 352

22D

22L

22R

【図17】

Document View

仮想マーケット

仮想マーケットメニュー

仮想マーケットメニュー

☑ デパート、百貨店

☑ 郵便局

☐ コンビニエンスストア

☑ その他

地図

デパート、百貨店

郵便局

コンビニエンスストア

その他

MC1

MC2

【図18】

Document View

仮想マーケット

デパート、百貨店

・○○デパート

・△△デパート

地図

広告の掲載/更新/削除 42

[HomePage][MenuPage][MapPage]へ移動

【図19】



【図20】

